

事業所名	放課後等デイサービス ばすてる 志木教室	公表日	令和6年 12月 23日	利用児童数	42
		実施期間	令和6年10月15日～10月29日	回収数	26

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	17	6	2	1	狭い。	限られたスペースではありますが、安全面に考慮し活動内容を工夫することで、より質の高い療育を提供できるように努めてまいります。	
	2	24	2	0	0			
	3	17	2	0	7			
	4	23	2	0	1	教室と廊下に臭うのは嫌です。パステルの臭いが子供の服に付着するくらいです。	教室内に臭いについては、ご指摘をいただいてから日々の換気を徹底しております。また、空気清浄機を設置し教室内の空気を清潔に保てるようにしました。廊下に臭いについては教室内同様、換気を徹底しております。その他の対策としては建物のオーナー様との相談が必要になりますので、今後お声がけさせていただきます。	
適切な支援の提供	5	19	5	0	2			
	6	23	2	0	1			
	7	26	0	0	0			
	8	22	1	0	3			
	9	23	1	0	2			
	10	23	0	0	3			
	11	23	0	8	6			
	保護者への説明等	12	24	0	0	2		
		13	23	0	0	3		
		14	26	0	0	0		
		15	23	3	0	0		
16		22	3	0	1			
17		25	1	0	0			
18		19	6	0	1			
19		21	2	0	3			
20		25	0	0	1			
21		21	2	0	3			
非常時等の対応	23	14	1	3	8	・大地震などの際、公共交通機関が止まった場合などの集合場所等の決め事が不明。 ・ほすてる利用中に火災や大地震があった際、子の引き渡しなど、どういルールかわからない。	周知が徹底して行われておらず申し訳ございません。事業所の玄関を入り、右側の壁に災害時の避難場所等掲示しておりますので、場所がわからないご確認いただけますと幸いです。また、今後ご契約時にご説明することで、周知を徹底してまいります。	
	24	11	1	1	13			
	25	16	1	0	9			
	26	18	2	0	6			
満足度	27	26	0	0	0	・親子ともども、安心して通っています。 ・いつも行くのを楽しみにしている様子が伺えますから精神的にも安定しているようです		
	28	23	2	0	1	・仲良しのお友達もでき、支援の先生方も仲良く楽しく過ごしているみたいでとても感謝しています。息子に合う場所があって本当に良かったと思っています。安心してお任せできる場所です。これからもよろしくお願いたします。		
	29	23	2	0	1	・子供たちが好きそうなプログラムやイベントを工夫しながら行ってきたと思っています。 ・子どもの特性をきめ細かく観察、理解していただき、それを保護者に寄り添って説明いただけており、大変ありがたいです。様々な事業があるとは思いますが、通所してから子どもが自分なりに工夫したり、自分の状況を客観的に見る力が付いてきたように感じています。いつも大変お世話になっております。保護者向けの講演会や特別の子会社の見学会など他にない企画もいつも大変喜ばしく感じています。これからも無理のないペースで企画開催していただけたら幸いです。	細かいご意見にありがたうございます。今後もお子様、ご家族様も楽しく、かつ安心して通所いただけるよう支援内容や環境設定等、日々試行錯誤しスタッフ一同誠心誠意努めてまいります。	

事業所名		放課後等デイサービスばすてる 志木教室		公表日	令和6年 12月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれも支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	ミーティングの時間を日々設け、スタッフ全体でお子様の情報共有をできるよう努めています。	記録として残すことが徹底されてはいたないため、今後はフォーマット等を活用し記録として残していくよう努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	通われている小学校との情報共有は、必要に応じて行っております。また、訪問し様子を伺うことも行っております。	契約時に保護者様より様子の聞き取りは行っておりますが、実際の現場スタッフとの情報共有はできていないため、必要に応じて情報共有を行ってまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		現在、左記に該当する児童がいないため実績として行われていないが、今後該当者が出た場合は積極的に情報提供してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	長期休みや土曜日の余暇支援を通して、児童館で活動する機会を作っています。	地域の子どもたちとの交流や活動は比較的少ないため、まずは他教室を利用している子どもたちとの交流から始め、輪を広げてまいります。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		外部の協議会への参加を行い、より密な情報共有ができるよう努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		スタッフの知識としてもまだ浅く、実施できていない状況のため、まずはスタッフが研修への参加等をし、知識を積み上げてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域のお店を利用するなどして、地域と関わる機会を設けております。	まだ固定化されていて範囲が狭いため、広げていけるよう努めてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぱすてる 志木教室			
○保護者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年10月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	26
○従業者評価実施期間	令和6年10月15日		～	令和6年10月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年10月30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	研修機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SVが週一回、定期的に療育等の研修を行っている</li> <li>・ケース検討等を通して、個々の状況や支援方針を話し合うことができている</li> <li>・外部研修にも積極的に参加している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修での内容を実践現場に生かし、より質の高い支援の提供を目指す</li> </ul>
2	安心して通っていただける場所の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様との関わりの中で褒める機会を大切に、スタッフとお子様の信頼関係を作っている環境を心がけている</li> <li>・保護者様との情報共有や送迎時の会話などで密に連携を取り、お子様とともに信頼していただけるよう努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より安心して通っていただけるよう、スタッフ間の情報共有の強化や療育の知識向上を図る</li> </ul>
3	スタッフ間のチームワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からスタッフ同士で話しやすい環境や雰囲気を作ることができている</li> <li>・スタッフそれぞれの視点から、お子様の支援の手だてなどを共有しあい、より良い支援の提供に努めている</li> <li>・毎日ミーティングを行うことで、スタッフ間の情報共有を密に行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き話し合いやすい環境設定を維持し、より質の高い支援の手だてを導き出せるよう努めていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所情報の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の避難経路や緊急時の対応など、保護者様に十分に伝わっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時や必要に応じて、より丁寧に説明するよう徹底する</li> </ul>
2	地域の他事業所との連携、情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の業務で圧迫されてしまい、地域へ出向く機会が少ない</li> <li>・スタッフの知識不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務の効率化を進めるとともに、地域へ出向き情報共有する機会を増やしていく</li> <li>・同業種だけでなく、幅広い分野の方々と交流の機会を図っていく</li> </ul>
3	地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携が取れていないため、関係性を作れていない</li> <li>・上記により、お子様への理解も不十分なため、地域活動への参加が思わしくない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは身近なスーパーや児童館などから当事業所を知ってもらい関係性を作っていく</li> <li>・関係性を作ることで、地域活動への参加の機会を増やしていく</li> </ul>